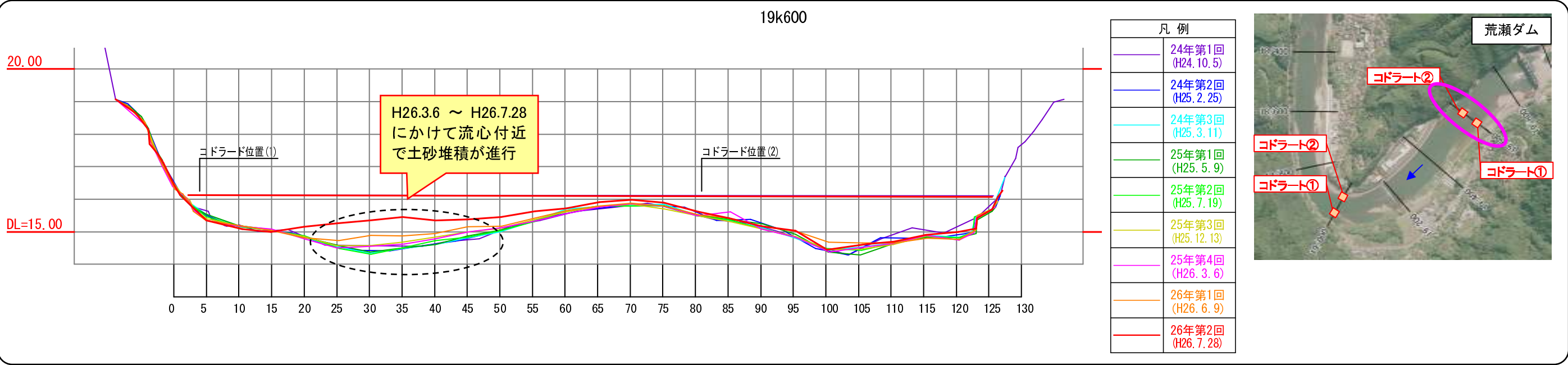
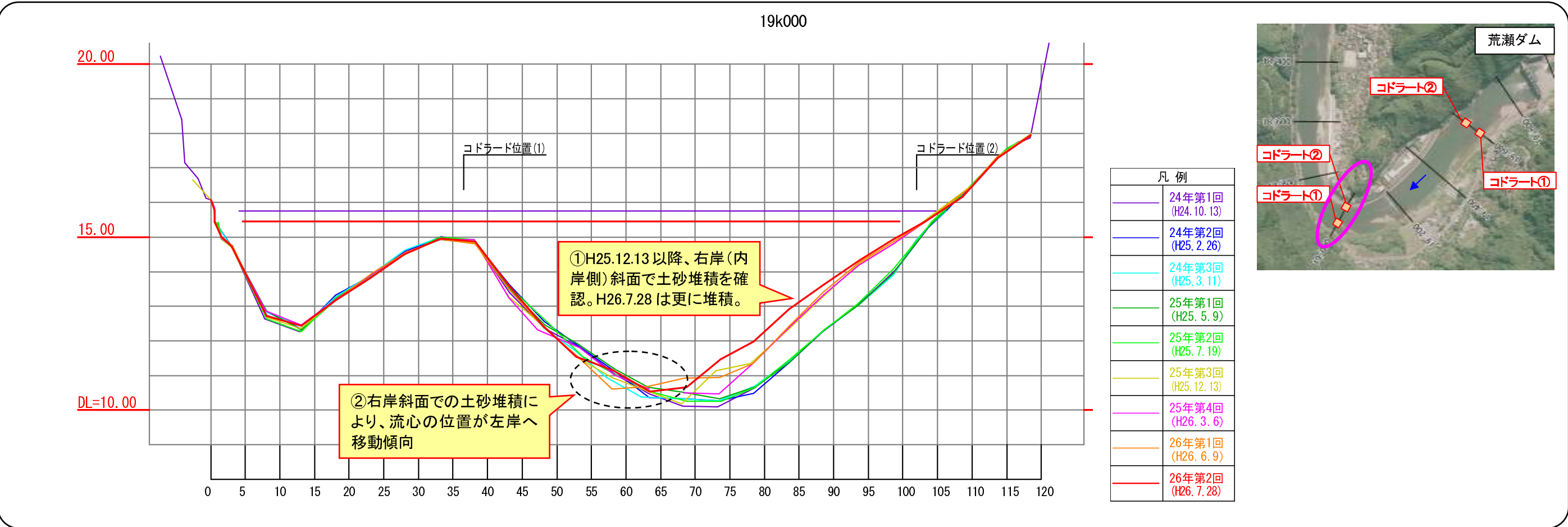


3) 基盤環境（物理環境の定期モニタリング）

【荒瀬ダム下流における物理環境（横断形状）の変化の概要】

【参考資料 P. I-71～I-84 参照】

評価項目	視点	今年度前期(4～9月)の調査結果概要
出水前後や工事実施前後の変化状況	出水や荒瀬ダム撤去関連工事(水位低下装置等)の影響把握	・19k0 では右岸（内岸側）で堆積が進み、流心の位置が左岸（外岸側）に移動。 ・19k6 では左岸の流心付近で土砂堆積が進行。



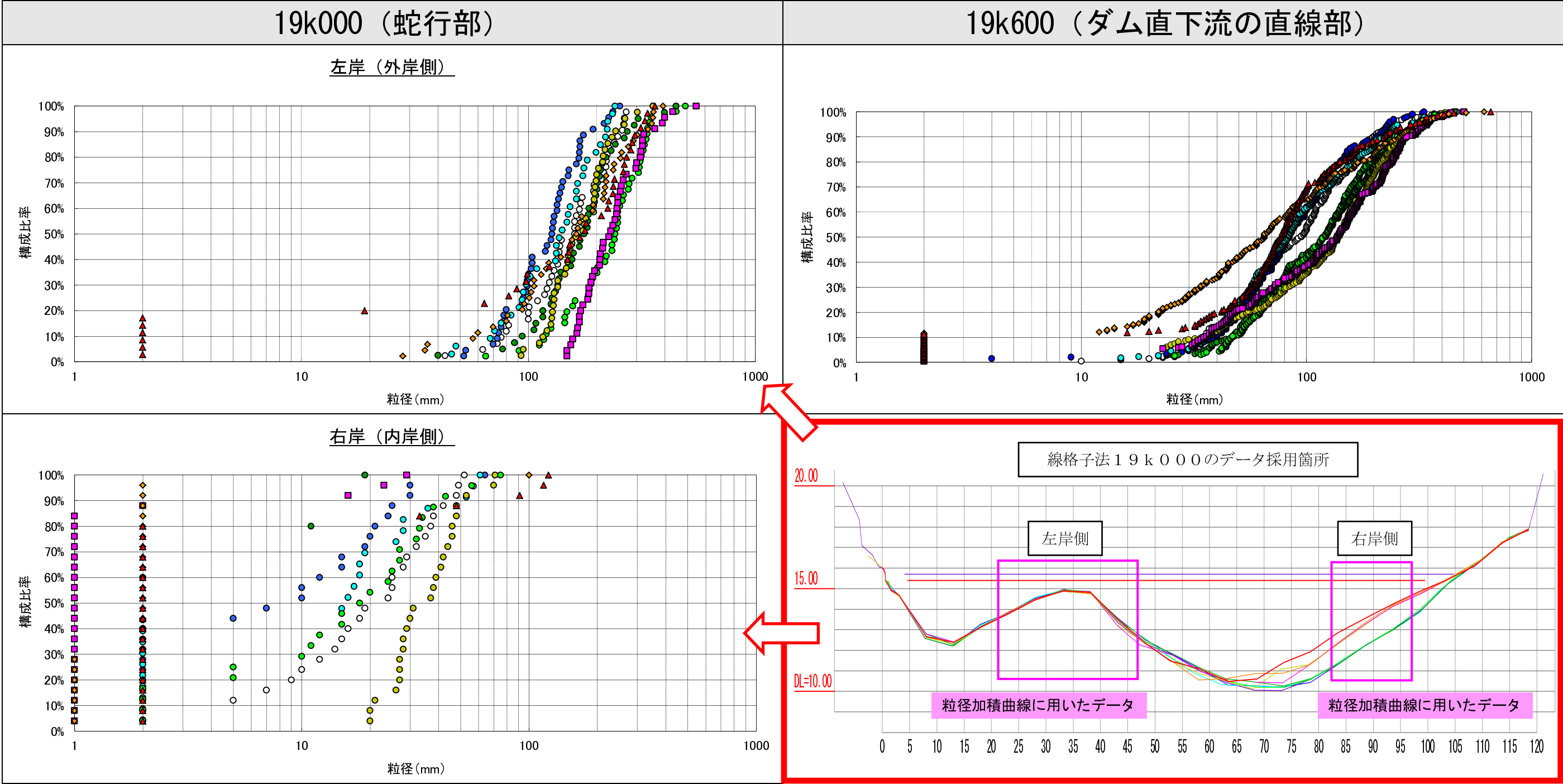
【荒瀬ダム下流における物理環境（河床材料）の変化の概要】

● 線格子法

【参考資料 P. I -71～ I -84 参照】

評価項目	視点	今年度前期(4～9月)の調査結果概要
出水前後や工事実施前後の変化状況	出水や荒瀬ダム撤去関連工事(水位低下装置等)の影響把握 【横断線上の粒径変化の概要把握】	19k000(蛇行部)の右岸側(内岸側)では、元々2mm以下の細粒分が多く、変動が大きい。特に、H26.3.6以降は細粒化が進行する傾向が見られた(ただし、H26.7.28には細粒分が減少している)。左岸側(外岸側)は、H26.7.28に少し細粒化している。 19k600(ダム直下流の直線部)では、H26.6.9以降に少し細粒化している傾向が見られた。

○H24.10.13 ●H25.2.26 ●H25.3.11 ●H25.5.9 ●H25.7.19 ●H25.12.13 ■H26.3.6 ◆H26.6.9 ▲H26.7.28



水深等の関係により分析可能なデータにばらつきがあるため、粒径加積曲線には取得率が高い箇所を参照している。
詳細データは、参考資料 I -7 7～ 8 4 を参照

● 面積格子法

【参考資料P. I -71～ I -84 参照】

評価項目	視点	今年度前期(4～9月)の調査結果概要
出水前後や工事実施前後の変化状況	出水や荒瀬ダム撤去関連工事(水位低下装置等)の影響把握 【左岸及び右岸における粒径変化の詳細把握】	19k000(蛇行部)の右岸側(内岸側)は、元々2mm以下の細粒分が多く、かつ変動も大きい。特に H26.6.9 で顕著な細粒化の傾向が見られた(ただし、H26.7.28 には細粒分が減少している)。左岸側(外岸側)は、H26.7.28 に少し細粒化している。 19k600(ダム直下流の直線部)では、H26.6.9 以降に少し細粒化している傾向が見られた。

○ H24.10.13 ● H25.2.26 ● H25.3.11 ● H25.5.9 ● H25.7.19 ● H25.12.13 ■ H26.3.6 ◆ H26.6.9 ▲ H26.7.28

